

結核・生活習慣病予防功労者の紹介

この表彰は、結核・習慣病等の予防対策に懇親的活動を続けられた方を表彰します。今年度は、4名の方に表彰を決定いたしましたのでご紹介いたします。

(順不同)

松田 至晃（まつだ よしあき）様
長野市 医師 （長野赤十字病院）

長野県健康づくり事業団が行う胃集団検診のフィルム読影において、平成4年4月から令和3年6月までの29年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献されました。また、平成元年6月からは委員長として、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会を開催する等、読影技術の向上に務め胃がん予防に寄与されております。

田中 昌彦（たなか まさひこ）様
長野市 医師 （医療法人信愛会田中病院）

長野県健康づくり事業団が行う胃集団検診のフィルム読影において、平成10年4月から令和3年6月までの23年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献されました。また、平成22年4月からは副委員長として、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会を開催する等、読影技術の向上に務め胃がん予防に寄与されております。

武川 建二（むかわ けんじ）様
諏訪市 医師 （諏訪赤十字病院）

平成11年4月に諏訪市医師会胃集検読影専門委員会委員に就任し、読影を開始されました。読影研修会にも積極的に参加をして研鑽に努めると共に、永きにわたり地域住民の生活習慣病予防に取り組んでこられました。

令和元年4月からは諏訪市医師会胃集検読影専門委員会副委員長として、更に重責を担い、市民の健康管理に一層尽力されています。また、総合病院の副委員長として、病院と診療所間の連携（病診連携）に努め、顔の見える関係の構築にも寄与されています。平成31年4月には健診部長として、諏訪市内に留まらず諏訪圏域にわたり、早期発見・早期治療の観点から、広く健康管理に尽力されています。

菊地 宙恵（きくち ちゅうけい）様
大町市 医師 （菊池クリニック）

平成10年菊池クリニックを開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的に尽力されています。特に特定健診・がん検診をはじめとする市の保健予防事業の効果的な推進のため、多大な協力をしています。また、市が行っている胃検診では、永年にわたり読影医として胃がん等の早期発見に貢献されています。

現在も市の健診等の委託を受け、市民の健康を守るため、健診業務をはじめ保健予防事業等に積極的に取り組んでおられます。
